

1 支部活動の状況

令和3年8月30日から9月3日まで、メールによる書面審議において釧路支部総会が開催され、令和2年度事業報告、決算報告、監査報告の承認と令和3年度事業計画案及び予算案の審議を行い、原案のとおり承認されました。

また、役員改選では支部長以下各役員が選出され、令和3年度の支部活動がスタートしました。支部の組織は総務会計部、研究部、厚生広報部の3つに分かれて、それぞれ活動しています。

研究部は令和3年度においてA・Bの2つのグループに分かれ、それぞれテーマに取り組み、研究を進める予定です。厚生広報部では、会員相互の親睦を目的としたレクリエーション事業の実施（予定）や、支部広報誌「いとう」（魚へんに鬼）の発行等、支部活動の活性化に努めています。

2 支部役員一覧

支部長	鈴木 嘉晃（釧路江南高校）
副支部長（研究）	山本 哲功（釧路養護学校）
副支部長（厚生広報）	谷内 篤（釧路商業高校）
監 事	北澤 欣浩（釧路北陽高校）
監 事	佐々木謙爾（釧路明輝高校）
理 事（第1地区）	鈴木 英理（釧路湖陵高校）
理 事（第2地区）	菅藤 優幸（白糠高校）
理 事（第3地区）	相馬 裕介（標茶高校）
総務会計部長	畠山 奏子（釧路江南高校）
研究部長	水元 啓貴（釧路工業高校）
厚生広報部長	本川奈美子（釧路養護学校）

3 年間行事予定

令和3年	12月	支部広報誌発行
令和4年	2月	研修会（予定）
	3月	送別会（予定）

4 学校数・会員数

道立高等学校	11校	39名
道立特別支援学校	3校	12名
市立高等学校	1校	5名
町立高等学校	1校	2名
合 計	16校	58名

5 支部の特色

当支部は、道東の拠点都市釧路から1時間程度で釧路湿原、阿寒湖、摩周湖、川湯温泉等の自然豊かな観光地へ行くことができます。

釧路と言えば「霧」が多いと想像されると思いますが、近年は霧も少なく「夕日」が美しいと評判です。特に、市内中心部の幣舞橋から見る夕日は格別で、多くのカメラ愛好家が撮影しています。道内では比較的雪も少なく、夏も涼しくと言いたいところですが、地球温暖化の影響が年々気温が上がり、くしろっ子には辛い夏となっています。

また、支部厚生広報部が例年企画してのレクリエーション（ボウリング）では、教育局職員の方々の参加も多数あり、和気あいあいの中、白熱したプレーを楽しみ懇親会では益々の結束を深めています。今年度も新型コロナウイルスの影響で会員が一同で集まる機会ができずにいます。

若い事務職員も多く、まとまりのある支部ですので、研究活動の充実・会員間の親睦に一層力を入れていきたいと考えています。